

## 若手科学者アジア会議

○主 催 日本学術会議若手アカデミー委員会

○日 時 平成 26 年 2 月 14 日(金)10:00～18:00

○場 所 日本学術会議 6-A(1)(2)会議室

○開催趣旨

インターネットなどの情報化技術の恩恵により地球規模での情報交換が盛んに行われ、ますます人口の多いアジアの存在感が増すことは必至である。このような状況を鑑み、アジア地域の未来を創造／想像する「若手科学者アジア会議」を我が国において開催することは同地域の一員としての、我が国がとるべき責務の一つである。文化的、経済的に多様なアジア地域がこれからの未来において貢献できる役割、果たすべき使命について、各国を代表すべき科学者が一堂に会し、議論、対話する機会を企画し催すことは、国際的リーダーシップという観点からも必須であると考えられる。

同会合の目的は、アジア地域の Global Young Academy (GYA) メンバーを招聘し、世界におけるアジア地域の学術的課題を共有し、将来への展望を討議することである。若手科学者の国際的な連携をうながす同会合の意義は GYA からも了承されており、その開催情報や成果は GYA のネットワークを介して発信されることとなっている。

○次 第

10:00 開会挨拶

駒井 章治

(日本学術会議特任連携会員、奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科准教授)

10:15 学術講演 1

“Infrastructure for transition to knowledge-based economy in Kazakhstan”

Kassymkhan Kapparov

(Representative of the National Agency for Technology Development of  
Kazakhstan in the United States of America, Kazakhstan)

11:00 学術講演 2

「三体力——古くて新しい核力の話 (Three Nucleon Forces: Story of old but  
new nuclear forces)」

関口 仁子

(日本学術会議特任連携会員、東北大学大学院理学研究科准教授)

14:00 学術講演 3

“Advance in Light Microendoscopy”

Wibool Piyawattanametha

(Director of Advanced Biosensors Laboratory, the faculty of medicine,  
Chulalongkorn University, Thailand)

14:45 参加者全員によるグループ・ディスカッション

グループ 1：キャリアトラック及び生活と研究 (ジェンダー)

グループ 2：若手アカデミーの未来

グループ 3：科学・技術政策

グループ 4：学際的な研究活動とは？

16:00 コーヒーブレイク

16:30 グループ・ディスカッション結果発表

17:30 会議総括

【問合せ先】 E-mail:s252@scj.go.jp

日本学術会議事務局 担当:井須